概要版







熊谷市

DX

推進計画

令和6（2024）年3月
熊谷市











はじめに

これまで本市では、ICTの活用による施策の実施を効果的に進めるため、平成31（2019）年度から令和5（2023）年度までの5年間を計画期間として、「熊谷市情報化推進計画・官民データ活用推進計画（e-くまがやICT推進プラン3）」を策定し、具体的な施策に取り組んできましたが、この計画期間が終了することから、社会情勢や国の動向、そして本市の向かうべき方向性などから総合的に勘案し、今後のデジタル化施策を着実に進めていくための指針となる「熊谷市DX推進計画」を策定しました。

この計画において、本市は、デジタル技術を効果的に活用し、精度の高いデータに基づいた、より質の高いサービスを提供することにより、市民の利便性を高め、快適な暮らしを実現するまちづくりを推進するとともに、行政に求められる各事務の効率化を図るほか、全ての人に簡便かつ効果的にデジタル技術の恩恵を受けられる環境や機会を積極的に提供することを定めることとし、デジタル社会の時代に対応した、最適なまちを目指します。



自宅からでも
オンライン手続

クマぶらで
様々な取組を

AIやRPAを活用し、
業務の自動化・省力化

DXとは

デジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用して組織や事業、業務プロセスを変革することです。

総務省では「自治体DX推進計画」で地方公共団体に求められるDXを次のように定義しています。

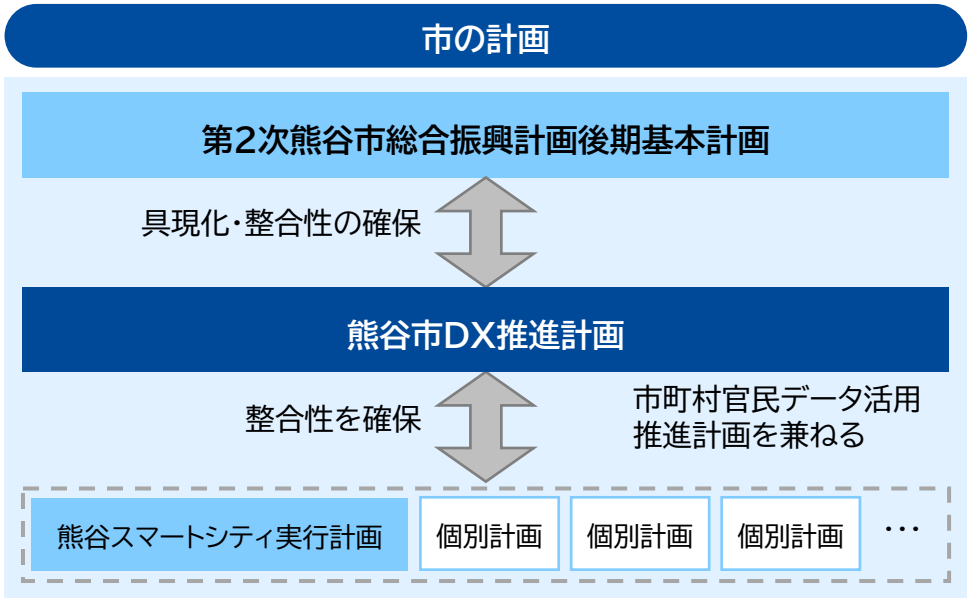
自らが担う行政サービスについて、
デジタル技術やデータを活用して、
住民の利便性を向上させるとともに、
デジタル技術やAI等の活用により
業務効率化を図り、人的資源を
行政サービスの更なる向上に繋（つな）げていく

またデータの流通を促し、多様な主体との連携により行政の効率化・高度化を図るとともに、民間のデジタル・ビジネスなど新たな価値が創出されることが期待されています。

熊谷市DX推進計画の位置付け・期間・推進体制

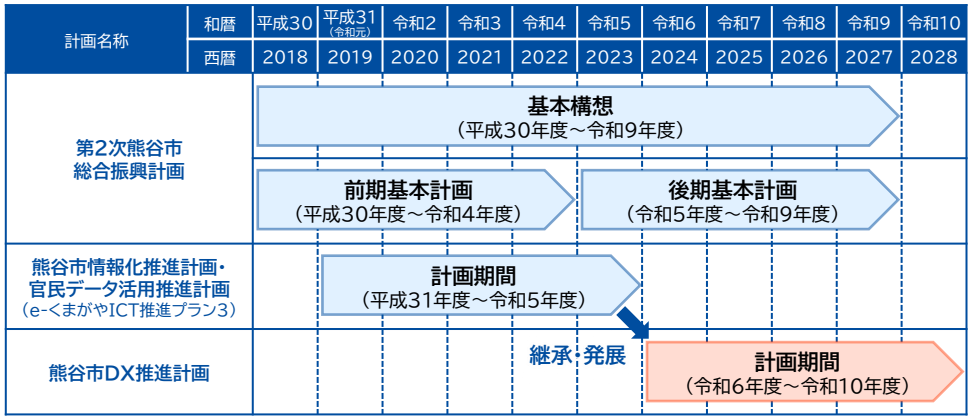
本計画の位置付け

- 本計画は、第2次熊谷市総合振興計画で掲げる「子どもたちの笑顔があふれるまち熊谷」の実現に向けた各種取組についてDX推進により具現化・整合性を確保するための取組の方向性を示しています。
- 本計画は、官民データの活用により得られた統計データ等の客観的証拠に基づく施策の企画や行政事務の効率化のほか、オープンデータ・バイ・デザインの促進等により、ICTを最大限活用した簡素で効率的な社会システムの構築を図るとともに、企業等による多様な新サービスやビジネスの創出、企業活動の効率化等を促し、市民が安全で安心して暮らせ、真に豊かさを実感できる社会の実現を目的とし、官民データ活用推進基本法第９条第３項に規定する「市町村官民データ活用推進計画」としても位置付けます。

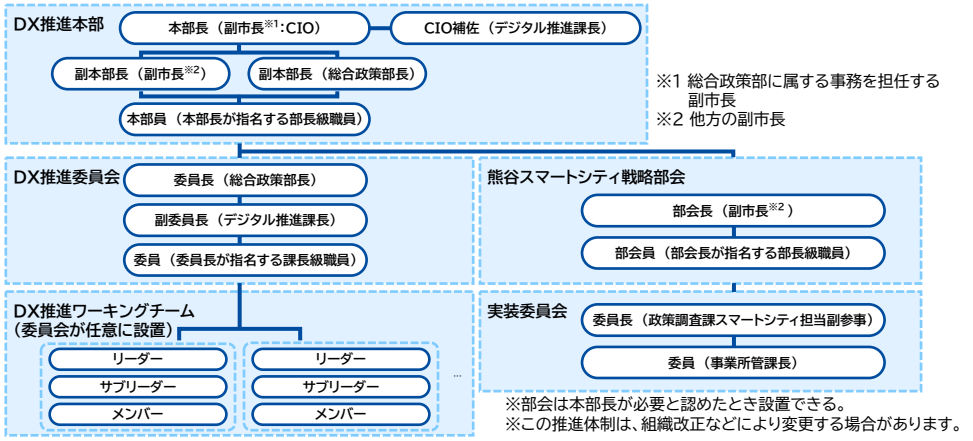


本計画の対象期間

- 本計画は、前身計画となる「熊谷市情報化推進計画・官民データ活用推進計画（e-くまがやICT推進プラン3）」を継承・発展させ、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間を計画期間として設定します。



DX推進体制



熊谷市DX推進ビジョン・取組方針



分野1
市民サービス向上のためのDX

様々な生活様式に対応した、
利便性の高い市民サービスの実現

取　組　方　針

- 1-1　オンライン手続の拡大及び各手続の利便性向上
- 1-2　デジタル技術を活用した窓口の利便性向上
- 1-3　情報発信の活性化

分野2
快適なまちづくりのためのDX

データと技術を活用した、
快適な生活を実現するまち

取　組　方　針

- 2-1　まちのデジタル化と公民連携のデータ整備・活用の推進
- 2-2　暮らしの中でのデジタル利活用
- 2-3　産業のデジタル技術の活用促進

分野3
行政の効率化のためのDX

デジタル技術で柔軟かつ
効率的な業務を遂行する市役所

取　組　方　針

- 3-1　デジタル技術を活用した業務効率化、情報基盤の整備
- 3-2　DX推進のための組織体制の充実

施策概要

（1） 分野1　市民サービス向上のためのDX

取組方針1-1
オンライン手続の拡大及び各手続の利便性向上

- 時間や場所に縛られず、必要なときに行政手続が可能となるように、オンライン手続の拡大を図ります。
- オンライン手続の拡大と並行して、キャッシュレス決済の導入やマイナンバーカードの利活用により利便性の向上を目指します。



自宅からでも
オンライン手続

- 1 オンライン手続の拡充
- 2 上下水道料金の納付方法拡充
- 3 マイナンバーカードの利用用途拡大

取組方針1-2
デジタル技術を活用した窓口の利便性向上

- 市民との接点（フロントヤード）の改革や様々なデジタル技術の活用により、手続時間をより短く、かつ確実な窓口サービスを目指します。
- 窓口に関する市役所の内部業務をデジタル化しつつ、コンビニ交付の利用率向上を図り、窓口での混雑解消を目指します。



- 4 住民票等のコンビニ交付
- 5 窓口業務のデジタル化
- 6 キャッシュレス環境整備事業
- 7 マイナンバーカードの普及促進

取組方針1-3
情報発信の活性化

- ホームページのコンテンツの拡充を図るとともに、分かりやすいデザインにするなど、継続的に改善を行います。
- 利用者のニーズに見合ったコンテンツをより明確に、そしてより具体的に分かりやすく発信するなど、利用者との双方向での情報受配信を充実させます。



市民と行政との
情報受配信

- 8 市ホームページにおける情報発信の強化
- 9 SNS等の活用による意見収集
- 10 総合的なメール配信サービスの拡充
- 11 SNSを活用したプロモーション

施策概要

（2） 分野2　快適なまちづくりのためのDX

取組方針2-1
まちのデジタル化と公民連携のデータ整備・活用の推進

- 都市ポータルアプリ「クマぶら」の機能に、コミュニティバスのスマホ回数券や地域電子マネーなどを導入し、様々なサービスを一元化して「クマぶら」の魅力と実用性を拡充します。またバス位置情報のオープンデータ化や3D都市モデルの整備・活用など、スマートシティプロジェクトと連携してまちのデジタル化を進め、便利で快適な魅力あるまちを目指します。



©熊谷市
クマぶらで
様々な取組を

取組方針2-2
暮らしの中でのデジタル利活用

- 様々な情報の発信拠点としてのスマートフォンの機能を生かします。
- デジタル技術は防災や防犯、地域コミュニティなど、様々な場面で役立っていますが、公共Wi-Fiの整備やデジタル教育の推進、高齢者向け支援などデジタルデバイドの対策を推進し、あらゆる市民がその恩恵を受けられる状況を整備していきます。
- オープンデータについて、公開するデータの拡大を推進するとともに、誰もが利用しやすい形で整備し、市民生活の利便性向上などにつなげます。


スマートフォン講座
（デジタルデバイド対策）

取組方針2-3
産業のデジタル技術の活用促進

- 市内事業者がDXを推進する取組に対し、支援を行います。また、インフラ維持管理のDX推進など、産業でデジタル技術活用を促進することにより競争力を高め、担い手不足に対処しながら、産業の持続的発展を促します。


事業者のDX推進の
取組を支援

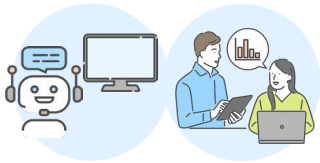
- 12 都市ポータルアプリ「クマぶら」運用事業
- 13 データ連携基盤の導入
- 14 暑さ対策スマートパッケージ
- 15 熊谷版スマートハウスの確立・普及
- 16 都市空間情報デジタル基盤構築事業
- 17 地域電子マネー「クマPAY」発行事業
- 18 コミュニティポイント「クマポ」普及促進事業
- 19 AIオンデマンド交通等次世代モビリティサービスの導入
- 20 スマホバス回数券の導入
- 21 市内循環バス「ゆうゆうバス」の交通情報発信の強化
- 22 戦略的人流データ活用事業
- 23 オープンデータの推進
- 24 市有施設利用者へのモバイルルータ貸出事業
- 25 自治会長スマホ体験講座
- 26 高齢者向けスマートフォン貸与事業
- 27 スマートフォン活用講座
- 28 IP無線機整備事業
- 29 公共施設等へのWi-Fiの設置
- 30 健康マイレージ事業
- 31 ワクチン＆子育てナビの充実化
- 32 避難支援情報の充実化
- 33 立正大学データサイエンス学部連携推進事業
- 34 校務支援システムの導入
- 35 小中学校GIGAスクール構想事業
- 36 災害用ドローンの安定運用
- 37 産業DX推進事業
- 38 橋りょう点検DX化事業
- 39 農業のDX化の推進
- 40 「チャレンジ・ステージくまがや」の運営
- 41 契約書の電子化の検討
- 42 電子請求の推進

施策概要

（3） 分野3　行政の効率化のためのDX

取組方針3-1
デジタル技術を活用した業務効率化、情報基盤の整備

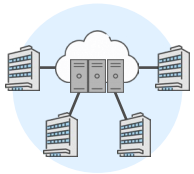
- これまでのペーパーレス化の推進と併せて、AI・RPAなどのデジタル技術を活用しつつ、業務の効率化を更に推進します。
- 効率的に業務を遂行できるように、円滑な通信が可能となるネットワークの整備及び持ち運びできる端末の整備を推進します。
- 必要に応じた業務の見直し・最適化を図った上で、自治体システムの標準化・共通化に向けたシステム移行に適切に対応するほか、行政事務に係る基幹システムや専門的なシステムの整備・充実を図ります。



AIやRPAを活用し、
業務の自動化・省力化



円滑な通信環境



標準準拠システムへの移行

取組方針3-2
DX推進のための組織体制の充実

- 市民サービスの向上や業務の生産性を高めるため、職員のデジタルリテラシーの向上を図り、デジタル技術を適切に活用可能な組織を目指します。
- 高度化・複雑化するセキュリティ脅威から個人情報などを守るため、情報セキュリティ対策の維持・強化や情報管理の徹底に取り組みます。



セキュリティの強化



DX人材育成・
リテラシー向上

- 43 AI・RPA等による業務効率化の推進
- 44 ペーパーレス化の推進
- 45 住民情報系システム標準化対応
- 46 保育施設AI入所選考システム導入事業
- 47 ローコードツールの導入検討
- 48 セキュリティ環境を保持した庁内ネットワークの運用
- 49 統合型GISの整備・運用
- 50 水道スマートメーターの実証実験
- 51 教職員用情報機器整備事業
- 52 図書館郷土資料デジタル化推進事業
- 53 デジタル人材の採用・育成
- 54 情報セキュリティ実施手順の見直し
- 55 情報セキュリティポリシー遵守状況の監査
- 56 サーバ室のセキュリティ対策
- 57 職員の情報セキュリティ研修の実施

熊谷市DX推進計画

令和６（２０２４）年３月
熊谷市
総合政策部デジタル推進課